やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」（青森）発行

誌　　名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	16 / 2001 / 30
タイトル	晩夏の田代岱にて
著　者　名	工藤芳郎

晩夏の田代岱にて

17代 工藤芳郎

やぶなべ会の皆さん、アサギマダラをご存知かと思います。大型の優雅な飛翔が印象的な、半透明な浅葱色の地に黒褐色の筋と斑模様が美しい蝶です。生物部時代に酸ヶ湯から城ヶ倉渓流に下る途中、初めてネットに捕らえた時の感動は今も鮮烈な記憶として蘇ります。後に八甲田大岳登山口など何頭かの採集の度にその美しさに見入ったものでした。

あれから三十数年、昨年の夏の終わりの午後、田代岱方面へぶらりと出かけた折、林道へ逸れ雨水で削られた悪路をゆっくり車で下る道すがら、末の娘の「今ね、大ッきな見たことないチョウチョがいたよ」の声で急停車、そのままゆっくりバックし、そっと車を降りてびっくり、タニウツギに舞う彼のアサギマダラが四頭、とたんに昔の採集根性がムックリ頭をもたげてきて、やがてニンマリ。幸いネットも三角紙もマイカー常備品で、車中で早速それらを準備、ワイワイキャーキャー子供らの大声での声援を静止しながらこっそりドアを開け、そろりそろりの前進、そして深呼吸・・・さっと？一振り、見事一頭捕獲に成功（ラッキー）。日頃元生物部を野蛮の権化の如くうさんくさいマナコで見下している母ちゃんの鼻を明かし、加えて子供らの盛大な拍手に小生面目躍如の感がありました。当日その付近での観察、採集はメスグロヒョウモン三頭、ミドリヒョウモンほか三種でした。

帰宅後17代三浦博君より♂とのご教示あり。後日、岩魚を見に田代箒場の小さな沢に降りた事がありましたが、川沿いの少しだけ山土のむき出した斜面で盛んに羽ばたいているアサギマダラを一頭目撃いたしました。（尚、前述の四頭共に試験放蝶のタグは付いていませんでした。）

… 以上報告まで …